

成増生涯学習センター長寿命化改修基本設計・実施設計業務委託

2次審査評価書

※評価項目に対して記載がない場合には、その項目の採点を「0点」とする。

1. 技術提案書で求める提案の評価

評価項目：技術提案書で求める提案に対する技術提案書の適格性、創造性、実現性

判断基準：技術提案書で求める提案について、適格性（改修基本方針との整合が取れているか）、創造性（複合施設として魅力ある施設の提案となっているか）、実現性（論理的な裏付けがあり説得力ある提案となっているか）を考慮し、各提案について総合的に評価する。

評価項目	審査内容	採点（120点満点）				
		E (最下位)	D (下位)	C (中位)	B (上位)	A (最上位)
		1点	2点	3点	4点	5点
(1) 社会教育施設としての具体的な提案 【重要項目①】	①生涯学習センターの目的である「多世代交流の促進」「社会教育団体の活動拠点」に最適な諸室や設備の配置について具体的に記述すること。	点（×4）				
	②様々な世代の人が集まり、地域の人々が憩える魅力ある場所となるための整備について具体的に記述すること。	点（×4）				
(2) 教育施設としての具体的な提案 【重要項目②】	①教育相談所に最適な諸室や設備の配置について具体的に記述すること。	点（×4）				
	②生徒・児童に、学習や体験活動を通じて社会的自立に向けた支援ができる整備について具体的に記述すること。	点（×4）				
(3) 工法やコストについての提案	①評価項目（1）（2）を踏まえた効果的な施設の複合化及び、入り口へのアプローチ整備含めた改修を、法的要件を遵守し、労務物価上昇等の社会情勢に対応しながら、予算の範囲内で工事を完了するための方策について具体的に記述すること。	点（×3）				
	②省エネルギー・環境配慮に関する方策について具体的に記述すること。	点（×3）				
	③イニシャルコスト、ランニングコスト及びライフサイクルコストの縮減に関する方策について具体的に記述すること。	点（×2）				
小計①		／120点				

※合計点が同点であった場合は、重点項目①の評価点が高い事業者を上位とする。

なお、重点項目①の評価点が同点であった場合は重点項目②の評価点で上位を決定する。

2. 選定委員評価点

評価項目	審査内容	採 点（80点満点）				
		E (最下位)	D (下位)	C (中位)	B (上位)	A (最上位)
		1点	2点	3点	4点	5点
取組意欲・熱意	技術提案書及びヒアリングにより評価を行う。当該業務の実施における課題や問題点を把握しており、積極的に取り組む姿勢がうかがわれる場合に優位に評価。	点（×4）				
業務の理解度	業務内容、業務背景、「改修基本方針」の意図等を理解しており、積極的に取り組む姿勢がうかがわれる場合に優位に評価。	点（×4）				
業務方針及び工程計画の適格性・実現性	取組体制、設計チームの協力体制・業務分担体制、重視する配慮事項、設計工程計画等について（提案を求める内容を除く。）、適格性、実現性等を総合的に評価する。	点（×4）				
区内事業者の活用	以下基準を参考に採点をする。 5点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある （単独企業または共同企業体の代表構成員） 4点 区内に営業拠点である 本社又は本店がある （共同企業体のその他構成員） 区内に営業拠点である 支社又は支店がある （単独企業または共同企業体の代表構成員） 3点 区内に営業拠点である 支社又は支店がある （共同企業体のその他構成員） 2点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、具体的な記載がある。 1点 区内事業者からの物品・工事等の調達・発注について、方針等に関する記載がある。 0点 上記いずれにも該当しない場合。	点（×2）				
提案金額	以下基準を参考に採点をする。なお、提案金額が配点の境である場合は点数の多い方を採用する。 5点 契約上限金額×70～80%、 4点 契約上限金額×65～70%及び80～85% 3点 契約上限金額×60～65%及び85～90% 2点 契約上限金額×55～60%及び90～95% 1点 契約上限金額×50～55%及び95～100% 0点 契約上限金額×50%未満	点（×2）				
小計②		／80点				

評価点	※小計①＋小計②	／200点
-----	----------	-------